

# 技術開発完了報告

秋田営林局  
鶴岡営林署

題名	広葉樹天然林施業 (天下1類施業箇所の追跡調査)				
系統・自主区分	署自主	開発期間	昭和43年 ～平成6年	担当	業務課 経営係
目標	<p>ブナを主とする天然林伐採跡地を刈り出し方法(横刈, 縦刈, 坪刈)別箇所設定しブナの生育状況調査から天1施業方法の指針を得ようとするものである。</p> <p>[ 開発箇所: 田麦俣森林事務所 66, と林小班 ]</p>				
結果	<p>昭和44年度～昭和62年度までの調査記録不明のため, 詳しい経過・結果は不明である。しかし, 昭和63年度からの成長蓄積調査では横刈, 縦刈, 坪刈, 箇所の大きな差は見られなかった。</p>		技術開発経費内訳		
			<p>〈人工〉 千円</p> <p>物件費                      役務費 (一部記録がないため記入不可能)                      人件費                      基 職 &lt; &gt;                      その他 &lt; &gt;</p> <p>合 計</p>		
<p>開発経過と調査内容</p> <p>①昭和39～42年度伐採</p> <p>②昭和43年度 ブナ生育調査                      (ブナ刈出し 横刈10.00ha 縦刈29.40ha 坪刈1.00ha 計40.40ha)</p>					

<p>③昭和44年度～昭和62年度 調査記録不明</p> <p>④昭和63年度試験地(プロット)設定 成長蓄積調査(坪刈, 横刈)</p> <p>⑤平成元年度試験地設定(プロット) 成長蓄積調査(縦刈)</p> <p>⑥平成3年度 試験地内設定プロットの整備 プロット標識等の整備</p> <p>⑦成長蓄積調査 試験地内設定プロットの整備 プロット標識等の整備 保育作業(除伐等)の要否についての検討</p>
<p>評価及び普及指導</p> <p>調査記録不明であることと, 昭和63年度からの調査結果から, 大きな差が見られないことから当技術開発の完了報告とする。今後も天1施業方法を確立するため, より良い方法を考え検討していきたい。</p>